

臨地実習（母性看護学）

[実習] 後期 必修 90時間 2単位

《担当者名》○常田美和[tsuneta@hoku-iryo-u.ac.jp]
三国久美[mikuni@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

母性看護学特論、母性看護学演習の学習を基盤とし、母性看護の臨床実践の場において理論を活用し、指導教員や実習指導者のスーパーバイズを受けながら、直接的看護ケアに関する実習を行う。専門看護師を目指す場合は、臨地実習の基礎として位置づけられる。

【学修目標】

- 1) 臨床実践経験から実習課題を明らかにし、実習計画を立案できる。
- 2) 実践過程および臨床現場における現象を、理論で説明できる。
- 3) 母性看護実践の質を向上するためのあり方を考察できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	実習課題	1. 周産期を中心とした母性看護学領域の臨床看護を実践する。 2. 対象者自身や臨床の場の抱える状況や問題を、総合的に分析、診断する能力を修得する。 3. 上記の分析を基に、母性看護実践の質を向上するためのあり方について考察する。	常田 三国
	実習方法	指導教員の基で実習課題を明確にした上で、実習計画を立案する。実習先では、専門看護師あるいは専門看護師を目指す助産師、実践力のある助産師と実践する。適宜、指導教員とカンファレンスの場や帰校日を通して調整を実施する。ケースレポートを作成し、実習記録の記述等から臨地実習での課題を明確にする。	常田 三国
	実習場所	手稲溪仁会病院 産科関連施設、NTT東日本札幌病院 産科関連施設を中心に、選択した課題に即した実習場所で行う（実習課題に即した上記以外の専門看護師（母性）が所属する施設の場合もある）。	常田 三国
	実習期間	臨地実習の期間は、概ね2週間とする。実習日程は、本人の経験や臨床実践能力、実習課題と施設の状況により、適宜検討する。	常田 三国
	実習記録実習報告書の作成	実習内容は記録に残し、分析資料として利用する。実習中に得た知見を報告書にまとめ、指導教員と実習指導者の指導を受ける。	常田 三国

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実習評価表40%、実習レポート60%

【学修の準備】

自己の臨床実践経験から導かれた疑問や問題意識は、先行研究ではどの程度解明されているのかを探索してから、実習課題を明確にすること。